

# JIS

## 熱及び火炎に対する防護服— 放射熱ばく露による防護服材料の性能評価

JIS T 8020 : 2020

(JSAA/JSA)

令和 2 年 3 月 25 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 保安技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	山内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線 医学総合研究所
(委員)	緒方 隆 昌	一般社団法人日本非破壊検査協会
	木村 俊 夫	公益社団法人日本アイソトープ協会
	釘宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	小松 克 行	公益社団法人日本保安用品協会
	利岡 和 範	日本安全靴工業会
	根岸 公一郎	株式会社千代田テクノル
	野原 由樹子	一般社団法人日本防護服協議会
	堀田 光 乃	建設業労働災害防止協会
	山田 崇 裕	近畿大学

---

主 務 大 臣：厚生労働大臣，経済産業大臣 制定：平成 17.12.25 改正：令和 2.3.25

官 報 掲 載 日：令和 2.3.25

原 案 作 成 者：公益社団法人日本保安用品協会

(〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-15 和光湯島ビル TEL 03-5804-3125)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：保安技術専門委員会 (委員長 山内 正剛)

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者，厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお，日本産業規格は，産業標準化法の規定によって，少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	2
4.1 A 法	2
4.2 B 法	2
5 装置	2
5.1 概要	2
5.2 放射熱源	3
5.3 試験片ホルダ	4
5.4 熱量計	4
5.5 温度記録装置	6
5.6 装置の設置場所	6
6 サンプリング	6
7 試料調整条件及び試験環境	6
7.1 試料調整条件	6
7.2 試験環境	6
7.3 入射熱流束レベル	6
8 試験方法	6
8.1 予備測定	6
8.2 放射熱源の校正	7
8.3 A 法の試験方法	7
8.4 A 法の評価	7
8.5 B 法の試験方法	8
8.6 B 法の評価	8
9 試験報告	8
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	10
解 説	13

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本保安用品協会（JSAA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣及び経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS T 8020:2005** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣、経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 熱及び火炎に対する防護服— 放射熱ばく露による防護服材料の性能評価

Protective clothing—Protection against heat and fire—Method of test:  
Evaluation of materials and material assemblies when exposed to a source  
of radiant heat

## 序文

この規格は、2002年に第3版として発行されたISO 6942を基とし、使用上の利便性を考慮するため技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

## 1 適用範囲

この規格は、熱及び火炎に対する防護服に使用する材料が放射熱ばく露を受けた場合の挙動を測定するための二つの試験方法（A法及びB法）について規定する。これらの試験は、放射熱に対する防護を目的とする防護服に使用する代表的な単層又は多層生地に対して行う。また、これらの試験は、材料の構成にも適用する。構成とは、內衣を伴う又は伴わない熱防護服を構成する材料の組合せとする。

A法は、放射熱ばく露を受けた後の材料の外観変化の評価を行う。また、B法では材料の防護性能を測定する。材料の試験は、A法及びB法の両方、又はいずれか一方によって行うことができる。

これら二つの方法は、材料の分類に利用することができる。ただし、防護服材料として妥当かどうかを判断するためには、その他の基準も考慮しなければならない。

試験は室温で行うため、その結果は必ずしも、それを上回る周囲温度での材料の挙動には相当せず、試験対象となる材料で作られた防護服の性能予測の適用範囲は限られる。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6942:2002, Protective clothing—Protection against heat and fire—Method of test: Evaluation of materials and material assemblies when exposed to a source of radiant heat (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

IEC 60584-1, Thermocouples—Part 1: EMF specifications and tolerances